

全国初！

G Xスチールを活用したモデル工事を実施！

北九州市は、「北九州市地球温暖化対策実行計画」に基づき、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めています。

このたび、公共工事における脱炭素の新たな取組みとして、全国の自治体で初めて資材に「G Xスチール」の使用を指定したモデル工事※を行うこととなりました。

G Xスチールは、鉄鋼メーカーの製造プロセスでのCO₂排出削減に伴う「脱炭素価値」が価格に付加されており、普及のためには、こうした価値が適切に評価され、選ばれる市場を広げていくことが重要です。そうした中、官営八幡製鉄所発祥の地であり、世界をリードするサステナブルシティを目指す北九州市が全国に先駆けて活用することで、「脱炭素を価値として扱う」新たな価値観によるモデルケースを創出し、鉄鋼業の革新的な脱炭素の取組みを後押しします。

今後も、試行的な活用を継続的に行い、北九州市の公共工事における脱炭素化を着実に進めるとともに、世界をリードするサステナブルシティの実現に向けて取組みます。
是非、ご周知のほどよろしくお願いいたします。

※G Xスチールの使用を条件とし、費用を計上した上で、モデル的に工事を発注するもの

■工事概要

- 1 工 事 名：板櫃川護岸工事（8-1）
- 2 工 期：令和8年8月6日～令和9年3月31日
※11月中旬現場施工予定（取材等の詳細な時期については問合せ先へご確認ください）
- 3 内 容：浸水対策のための河川護岸改修工事
*護岸に設置する「鋼矢板」の一部にG Xスチールを使用することを指定して発注
*受注者が、日本製鉄㈱の製造するG Xスチール「NSCarbolex Neutral」を採用

■G Xスチールとは 参考：（一社）日本鉄鋼連盟「GX スチールガイドライン」

鉄鋼メーカーが、社内全体で実施した製造プロセス転換等の温室効果ガス削減行動に伴う環境価値を、自社の任意の鋼材に配分し、証明書とともに供給するもの。

■G Xスチールを取り巻く現状

<鉄鋼業界>

日本製鉄(株)が八幡地区で大型電炉による高級鋼製造（R11～）を発表するなど、国の支援のもとで革新的な脱炭素の取組みが進められ、「G Xスチール」が製品化されている。

<国土交通省> 参考：国土交通省土木工事の脱炭素アクションプラン（R8.7改定）

「脱炭素も価値として扱い、価格だけでなく、総合的に価値の高い資材等の採用に努める」との考え方を示し、R8年度から試行工事を行った上で、R12年を目途に公共工事でグリーン鉄を本格活用する計画を打ち出している。

【お問合せ先】

技術監理局技術管理課

担当：武宮（課長）、黒木（係長）

電話：093-582-2045

鋼矢板を使用した河川護岸工事のイメージ



＜鋼矢板とは＞

土木工事で使われる主要な鋼材の1つであり、地中に連続して打ち込むことによって壁を形成し、土留めや止水を行う。

河川護岸工事では、コンクリート護岸を支える基礎としての役割もある。

News Release

2026 年 9 月 8 日
日本製鉄株式会社

日本製鉄の GX スチール「NSCarbolex Neutral」が北九州市発注の公共工事に採用

～ 地方自治体の費用負担による全国初の事例 ～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）が提供する GX スチール^{*1}「NSCarbolex® Neutral（エヌエスカーボレックス ニュートラル）^{*2}」が、このたび北九州市が発注する公共工事に採用されました。公共工事に GX スチールを活用したモデル工事として、地方自治体が費用を負担した上で GX スチールを採用する全国初の事例となります。

北九州市は、「世界をリードするサステナブルシティ」を目指しており、このモデル工事を通じて、「脱炭素を価値として扱う」新たな価値観によるモデルケースを創出し、鉄鋼業の革新的な脱炭素の取組みを後押しするとしています。

日本製鉄は、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、GXスチール「NSCarbolex Neutral」の供給を推進しています。

また、日本製鉄は九州製鉄所八幡地区（北九州市）において大型電炉での高級鋼一貫製造体制の構築を推進しており、鉄鋼業の革新的な脱炭素化に取り組んでいます。今回の採用は、鉄鋼の街として発展してきた北九州市とともに、持続可能な社会の実現に向けた取組みを進める象徴的な事例であると考えています。

日本製鉄は、今後も「NSCarbolex Neutral」の提供を通じて、お客様の脱炭素化と競争力向上を支援するとともに、地域社会と連携しながらカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

参考：工事概要

- ・ 工事名：板櫃川護岸工事（8-1）
- ・ 発注者：北九州市
- ・ 工期：2026 年 8 月 6 日～2027 年 3 月 31 日（予定）
- ・ 工事内容：河川護岸改修工事
- ・ 採用製品：GX スチール「NSCarbolex® Neutral」を適用した鋼矢板

*1 GX スチール

鉄鋼メーカーによる追加的な（スコープ 1 の）直接的排出削減行動による大きな環境負荷の低減があり、排出削減行動に伴う環境価値を一定のプレミアムとして経済価値化することを前提に、削減証書とともに供給する鋼材。

※GX スチールの定義についての詳細は、日本鉄鋼連盟「GX スチールガイドライン」を参照ください。

*2 NSCarbolex Neutral

日本製鉄が実施した追加性のある削減プロジェクトによる GHG (Greenhouse Gas 温室効果ガス) 排出削減量を組織内でプールし、その削減量を任意の製品に配分して証明書と共に供給する鉄鋼製品であり、一般社団法人日本鉄鋼連盟が制定するガイドラインに準拠しています。

NSCarbolex Neutral を購入したお客様は、証明書に記載の GHG 排出削減量を、お客様が算定する組織レベルの排出量 (GHG プロトコル スコープ 3 カテゴリー 1) からの控除及びお客様が算定する製品レベルでの上流排出量からの控除として報告することができると解釈しています。

NSCarbolex Neutral に関する詳細は、日本製鉄のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/neutral/>



以 上

お問い合わせ : <https://www.nipponsteel.com/contact/>